

豊かな自然の中で子供たちをはぐくむ！

○ 活動の経緯と目標 ○

吉野川中流域の里山には、放置された森林・竹林が目立つようになり、私たちは子供たちのために、豊かな自然と里山を再生させたいという思いから地域住民やボランティアが集まり「AMEMBO」を結成しました。

AMEMBOとしての活動は、今年で12年目になります。

私たちの活動の目標は、豊かな自然の中で様々な活動を通して子供たちをはぐくむことです。また、この豊かな大自然を継承し、山々を保全すること、そして地域の活性化に寄与したいと考えています。



森の中に造られた
ツリーハウス

○ 現在の活動内容 ○

現在もAMEMBOとして、竹林や森林の整備、ツリーハウス体験等の自然体験活動を引き続き行っています。美馬市内を中心に県西部の小学5年生を対象として、1回あたり30名程度を受け入れ、体験活動を行っています。

森林は、子供たちが様々な体験を通じて楽しみながら学べる絶好のフィールドです。この体験活動の準備として、竹林や森林を整備し、そこから得られた資源を活用して体験活動のプログラムを実施しています。例えば、竹林から切り出した竹は、「日本一のどんど焼き」というイベントの「どんど」に使い、竹あんどん作りの材料にも活用できます。森林から切り出した薪は、ピザ釜の燃料になり、様々な形で森林資源が活用されることを体験してもらいます。そこから自然の恵みの豊かさや大切さ、さらに森林整備の必要性を感じてもらえたらと考えています。



煉瓦を組んで作ったピザ釜

○ 交付金終了後の活動継続について ○

交付金が終了した後は、自然体験活動参加者からの参加費が活動の資金となっています。

子供たちを自然の中ではぐくむ活動として、やりたいことはまだまだありますが、活動を広げるためにはやはり資金の不足が課題となってきます。しかし、「大自然の中で子供たちの心をはぐくみたい」という強い目的意識を会のメンバー全員で共有できているので、その思いを糧にここまで会を長く継続してこれたのだと思います。

○ 今後の活動について ○

この吉野川流域の自然環境を生かした自然体験活動をこれからも引き続き行っていきたく思います。参加を希望する小学校もどんどん増えてきていますし、スタッフとして会に参加してくれているメンバーも現在51名となり、活動は広がっています。これからも続いて活動できるように、今後は若いメンバーに活動を引き継いでいけたらと思います。



代表の 藤川 雅仁さん
事務局 藤川 美智江さん